

八乙女

編集 南山見公民館
発行

昭和63年1月25日発行

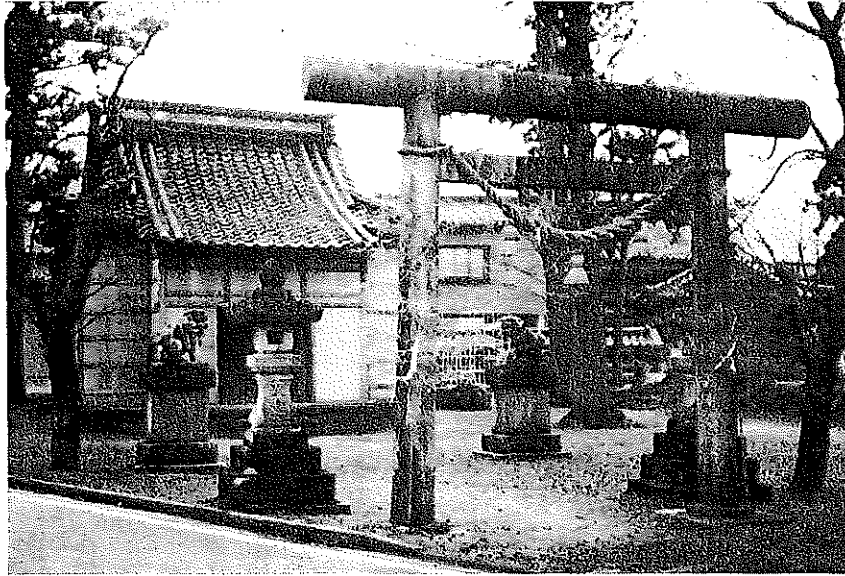
No. 31

富山県東砺波郡井波町川原崎
TEL (0763) 82-5176

新玉のほのぼの明けじ八乙女の
稜線清しく御社に詣づ

沖 神明宮

松田澄子



新年を迎えて

井波町消防団第三分団長 直江 幸夫

あけましておめでとうございます。

日頃、消防団にご高配を賜わり心より感謝申し上げます。

さて、今年には辰年で潤年。辰年の天候はどうだろうかと気になるところであるが、過去の記録を調べてみると、十二年前の昭和五十一年には酒田で大火があり、北日本では冷害台風被害もあった。昭和三十九年にはやはり冷害、二十七年には鳥取で大火があり、十五年には静岡で大火があり、台風被害も出ている。こうした例を見ても、辰年の天候は必ずしもよいとは言えない。

十二支のようにきちんと繰り返すわけではないので、こんな例が今年の天候を見るのにどの程度参考になるかわからないが、大火の多いのが目立つ。大火が多いということは、干ばつ気味の天候が現われるということではなからうか？ いずれにせよ、天候に対する注意は今年も必要であらう。

幸いにして、今日までの地域に大きな災害のなかったことは、住民各位のご理解とご協力のたまものであります。住民を災害から守ることも、又人命の安全を守ることも、かけがいのない財産保護と住民安寧秩序のためにも、災害を出さないように予防、又防災等は、私達に与えられた重大な責務であり、これを正しく理解し新しい年を迎え心を新たにしております。

なお、最近特に個建住宅の増加、生活様式の近代化等、多くの災害対策の問題が山積みしている今日、住民生活のより安全確保をめざして人間優先の理念に立ち、快適な生活環境を作りあげ、そして現代社会の潮流に対処するため総力を結集して邁進する考えであります。

住民各位のご協力を特にお願いいたします。

辰年生まれの人の抱負は



山本 講平
昭和51年生

竜のように

今年、ぼくの生まれ年です。竜は、天へ登る空想の動物と言われていて、それだけに、だれでも竜のようになって未来の世界をのぞいてみたいと思っています。

ぼくは、スポーツが大好きです。特に、野球と水泳が得意です。野球では甲子園に出場してホームランを打ってみたいし、水泳ではオリンピックに出場して新記録をだすのがぼくの夢です。

でも、ぼくは食べ物に好ききらいがあります。何でも食べてしまう体を作り、小学校最後の六年生を勉強に運動にがんばりたいと思っています。燃えるドラゴン"のようにノ



前川 寛子
昭和51年生

私の年

私は、たつ年です。たつは、すばやく天にのぼるそうです。人間でいうと偉い人になることです。

私は、少しでもたつのように上へ行くように、勉強やスポーツをがんばっていきます。学校では、料理クラブに入っています。お母さんが仕事で家にいない時、おばあちゃんの食事のお手伝いをするためです。お友達とホットケーキやクッキーを作ることもあります。

スポーツ少年団では、バレーボールに入っていて、放課後がいつも楽しみです。公民館では習字を習っています。今は四級ですが、一級になれるようにがんばります。



朝倉 幸博
昭和39年生

責任をもって

今年の抱負ということですが、自分分がまず脳裏に浮かんだことは、二十五の厄年であるということよりも結婚して最初に迎える年、これから自分にかかってくる責任感です。



洪谷 朝子
昭和27年生

地域にとけこんで

連代寺に住みもう八年になり、今年三回目の年女になります。

昨年は縁あって婦人会のお手伝いをさせていただくことができ、新しい人との交流の輪も広がり、人の和の大切さを知ることができました。新しい年を迎え、今年も視野を広め、心にゆとりをもって地域の活動に積極的に参加していきたいと思

今までと違って、自分一人の事ではなく、親・兄妹・祖母・妻とみんなを見て自分が先頭になって家族を大切にして明るい円満な家庭環境を作らなければならないことです。

それに時間です。時間というものは、友達関係や商談はもちろん信用までも失うことがあります。聞いたこと受けたことは、責任をもって時間を守り、最後までやりとげたいと思います。

ます。

また、家族健康で日々の感謝の気持ち忘れずに、心豊かな充実した毎日が送れるように願っております。



加藤 明生
昭和15年生

一層男としての大役を

ご縁があって、町からこの地区に引越してきて、早や八年、温かい人情と自然・健康に恵まれ、本当に来て良かったの一言です。家族共々、感謝の気持ちの毎日です。

今年「辰年」、辞典によるとへびに似た体に四本の足、二本の角とひげをもち、空に昇っては雪をおこし、雨を降らせるといふ想像上の動物であり、中国ではめでたい印とするそうです。

「昇り竜」の如く、何事にも耐え、強い意志と義理・人情を大切に、男としての大役を果たしていきたいと思っています。



原笑子 生 昭和3年

感謝の気持ちで

戊辰年に生まれ、また戊辰を恙無く迎えられ、感謝致しております。昨年末、浄教寺で昭和三、四年の辰巳会の追悼法要を勤め、今春伊勢参拝旅行も計画され一入の想いがあります。

今年主人の三十三回忌、当時小学生の長男も無事初老となり、私も病氣一つせず過ごせたのも、神仏のご加護、また教え導き温かく励まして下さった多くの方々との出会いに

恵まれたことを感謝致しております。昔、女中奉公に上っていた時、ご主人より、感謝と人を救す心、堪忍できるほど幸福はないと聞かせていただいたことが、折に触れて胸に甦って参ります。今後、この言葉を味わい心身共に健康に留意して快く働かせていただき、少しでも皆様の役に立てたらと思っております。雨嵐堪えて六十路の春迎ふ



須川武雄 生 大正5年

健康で家庭円満に

私は、第一次世界大戦時の大正五年、辰年の生まれです。「歳月、人を待たず」と申しますが、七十年は夢の如く過ぎました。

さて、昨年は病気で入院された天皇陛下も無事退院され、昭和三年、辰年に御即位されて六十年にあたります。竜は天子を表わすとか。何とぞ今後も御健康であられることをお祈りするものです。私たちが祖先から受け継いだ田圃

ご成人おめでとう

も、若い時はモッコをかついで田を作り、戦後はその田をこわしてトロッコでやり直し、近年は大型ブルドーザーで今の美田が完成した、と思う間もなくパイプラインと、果てしなく文明開花の波が押し寄せてくる。ともあれ、私たちは神仏の御加護に感謝し健康で家内円満に、本年も昇り竜であるよう祈願しております。

正月の思い出

小正月の鴨追

正月の十五日はサツキとも呼ばれ、田畑に害のあるカモボイ（鴨追い）を行ったものである。カモは鴨というよりも、すべての害鳥を総称していたと思われるが、この行事も今ではほとんど見られなくなった。私達の子供の頃は、正月十五日の朝まだ薄暗いころ、各自の家の田んぼ「苗代田」に出て、カモボイの歌を歌ってカモボイをした。

ノシロ田のオバイサ
鳥ボウテクサレ

何鳥ボウジャ

朝鳥、夜鳥

昼間ノ雀、ヨサルの鴉

ホワイ ホワイ ホワイ

と歌いながら田んぼの畦を歩いたものである。

このように、秋の収穫を祈る予祝行事をしておけば、その年は豊作になるといふ習俗的な行事であった。またサツキというのは、田植のことであり、囲炉裏へ足を入れると、田んぼに害虫が入るといって親にひどく叱られたものである。

(TY老生)

- | | |
|-------|-------|
| 院瀬見二区 | 松田典子 |
| 前川明洋 | 田中康司 |
| 吉田久美子 | 箭原秀嗣 |
| 銅谷明浩 | 松長晴美 |
| 箭原秀樹 | 高田正弘 |
| 武田臣弘 | 高田正樹 |
| 岩崎宣浩 | 横川智美 |
| 山崎聡 | 才川ゆかり |
| 倉嶋潤 | 宮嶋英之 |
| 富田栄 | 高田英子 |
| 高田倫子 | 南山見団地 |

第十回 地区文化祭 (1/5)

第十回を迎えた文化祭も好天に恵まれ、地区内外から多数の人のご参加により盛大に行われました。

今年度より、新たに詩吟・コーラス・二つの民謡のサークルが加わり日頃の練習の成果を発表され、会場を盛り上げていただきました。

ますますみんなで作る文化の輪を広げていきたいものです。

農産物品評会入賞者

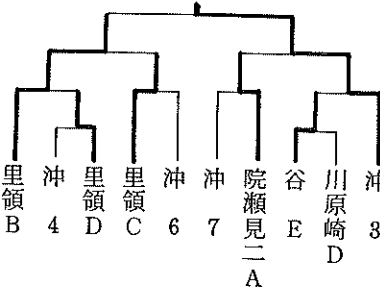
武田はな・前川諭・朝倉三郎・篠原勇吉・篠原ユキエ・亀田博信・岩崎みよ・岩崎喜代野・亀田新三郎・岩崎宗義

第四回 ビーチバレーボール大会 (1/5)

参加四十六チーム、連夜大勢の方の応援のもとで行われました。

◇決勝トーナメントの結果

- 1位 沖3チーム
- 2位 里領Bチーム
- 3位 院瀬見二Aチーム



クリスマス会に参加して

三年 沢田知佳子

公民館でのクリスマス会は、みんなでゲームをしたり、ケーキを食べたりしてとても楽しかったです。

ゲームでは、ウルトラクイズが楽しかったです。南山見のこのクイズだったのでだいたいわかりました。まよったクイズもあったけど友だちといっしょに考えて○や、×へ行ったりきたりしました。

風船運びゲームは、むずかしそうに友だちと「落ちたらどうしよう、落ちないようにやっつけていこう」と言っていたがばりしました。でも終ってみればとてもかんたんなゲームでした。

それから、手作りのケーキはとてもおいしかったです。私も早くケーキ作りをしてみたいと思います。



受賞おめでとう

勲六等瑞宝章 前川敬三

ご寄付

ありがとうございます

・ガス湯沸器

昭和六十二年度婦人部一同様
・スポーツ振興へ 二万円
田中美智子様

編集後記

今年はずつ年。干支エトでいえば戊辰ツチノエタツ。戊は茂に通じ辰は震に通じ大地が新しく蘇る年。

百二十年前は明治維新。六十年前の昭和三年は昭和維新と呼ばれた。

今度の戊辰を国際維新と呼ぶ人がある。否応なしに世界の政治経済、文化に、本格的に晒される時代の幕開けの年ということであろうか。

最も地方的なその地独特の文化、物産は、また世界から認められ共感を得るといふ。「地方の時代」の意味もここらにあるのではないか。

古い慣習を思い起し、心の底のものを呼び覚ますことも時に必要だ。

鳥追はやたそがれの袖の雪 炎天

いいききグループ紹介

沖 青年会

沖青年会は、会員数三十名、四十二才までで構成されております。

年間の行事は、報恩講から始まって、左義長、室内レクリエーション、ボーリング大会、研修旅行、しめなわ作り、昨年は河川の草刈りも致しました。その他町主催のソフトボール大会、

県のビーチバレーボール大会等の行事にも参加させていただきました。町議選では、院瀬見や東城寺の青年会とも協力し戦って参りました。河川の草刈りは、会員の協力により活動資金として役立てることができました。

今後、他地区とも交流し協力して進めていきたいと考えております。

(池田)